

あ と が き

日頃から、本校の教育活動に対しまして御指導と御支援をいただいておりますことに、心からお礼を申し上げます。

本年度は、学習指導要領の全面実施を受け、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を全校で実施し、学習指導要領の理念を実現する授業の在り方を追究して参りました。

しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「学校の新しい生活様式」を踏まえた教育活動が求められており、従来のように子供同士が向かい合って話し合ったり、グループで活動したりすることが困難な中、いかに授業改善を進め、児童に確かな学力を保障していくのか模索する日々となりました。このような、予測することが困難な状況の中においても、学び続ける子供を支え、授業改善の速度を落とさない取組を進めることが本校の使命であると考え、授業改善及び研究推進の道しるべとなる研究紀要を発刊することとしました。

さて、本校の教育目標は、総括目標が「主体的人間の形成」、具体目標が「思いやる子、つくりだす子、やりとげる子」であり、知・徳・体の調和のとれた人間に育ててほしいという願いが込められており、学習指導要領で求められている資質・能力と同じ方向にあると捉えております。

この教育目標を具現化するため、今年度から、研究主題を「探究する子供を育てる教育活動の創造」とし、問題解決的な学習を進めていく中で、学ぶ必要感や学びに向かう意欲を引き出し、より一層知りたい、考えたいという推進力のある学びを実現する、「探究」を軸とした研究を推進して参りました。

各教科・領域の特性を踏まえた授業づくりや評価の在り方、教育課程の改善に向けた取組など、まだまだ不十分な点があるかと思いますが、今後は、更に研究を整理・焦点化するとともに、活用しやすさの観点から、研究紀要の発行の仕方を含め、見直して参りたいと考えております。

また、本年度は、教育研究大会を従来のように実施することはできませんが、形を変え、授業改善に資する取組を発信して参ります。

今後も、教育研究校、教育実習校、教育実践校としての果たすべき使命と役割を自覚し、「附属小学校の研究や実践が参考になった。」と多くの方に言っていただくことができるよう、研究の推進と実践に努めて参りますので、御支援と御協力、御批正と御指導をよろしくお願い申し上げます。

終わりに、研究の推進に当たりましては、北海道教育庁上川教育局並びに旭川市教育委員会をはじめ、関係各位に御指導と御助言をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

副校長 齊藤 誠